



東京都高等学校数学教育研究会  
事務局 都立本所高等学校内  
事務局長 小山 克之  
発行所 都立千歳丘高等学校内  
編集発行人 大島 和華子  
都数研HP <http://tosuiken.jp/>

## 第78回関東甲信静数学教育研究大会報

日時 令和5年11月2日(木) 10:00~17:00

会場 全体会・記念講演 横浜市栄公会堂  
高等学校部会 神奈川県立柏陽高等学校

大会主題

「主体的・対話的で深い学びの実現  
～これからの社会を創造する数学的に考える資質・能力の育成～

(都数研編集部参加者2名)

### 1. 全体会

- ・主催者挨拶 大会会長 池田 敏和氏
- ・祝辞 神奈川県教育委員会教育長 花田 忠雄氏  
日本数学教育学会会長 清水 美憲氏

### 2. 記念講演

講師：妹尾 昌俊氏

(教育研究科 一般社団法人ライフ&ワーク代表理事  
大阪キリスト教短期大学教育テック総研 副所長・客員教授)  
『子どもたちと教職員のウェルビーイングを大切にする学校づくり』

これからの授業のあるべき姿をご講演下さった。

現状を把握するために2つの観点からお話された。



・教員の資質について

東京都教員採用試験の小学校の教員倍率が1.1倍になったが倍率が低下すると質が低下するのか？

→そうとはかぎらない。

受検者数と採用数の兼ね合いがあるから一概に低下しているとはいえない。

・教員の時間について

6分と8分が41%，数字が表すのは何の割合か？

→小学校と中学校の先生の給食の時間と睡眠不足である教員の割合。

資質は低下しているわけではないが教員の働き方からするとこのままではいくのではなく、働き方改革を行い教員の時間を確保することが大切である。

人は3つのこと「本・失敗・歴史」「旅」「人」から学ぶと言われるのだから、今後は業務見直しワークログ作成し時間をつくるようにしていくと、子どもたちと教職員のウェルビーイングを大切にする学校づくりにつながる。

### 3. 公開授業 および 研究協議

高等学校部会 13:10~14:15

研究協議 14:25~14:55

授業 2年 数学C 複素数平面

授業者 神奈川県立柏陽高等学校 市田 尚史先生

「既習であるベクトルの問題を複素数の問題にして複素数の有用性などを話し合おう」

まずグループをつくり各グループにベクトルの問題が1問印刷されたプリントを配布。問題は普段使用している問題集のサクシードから教員があらかじめ5問選択し各グループで異なる問題にとりくみ複素数の問題につくりかえて解く。その際、自分たちで模範解答も作成する。作成した問題と模範解答はクラウド上のクラスルームに投稿する。

自分のグループの作成が終わったら次に、各グループで他の班の問題を協力して解き解答用紙に記入する。記述採点をする。配点はすべて異なるように設定する。